



あなたに



か ね が え け ん じ
鐘ヶ江 賢治 さん

町で初めての 地域おこし協力隊員

町で初めての地域おこし協力隊員となった鐘ヶ江賢治さん(36)が、11月30日で任期が終了しました。

鐘ヶ江さんは福岡県久留米市の出身で、平成28年12月13日に地域おこし協力隊員として着任し、厚岸味覚ターミナル・コンキリエを拠点とし、活動しました。

地域おこし協力隊は、都市地域から人口減少の進行が著しい地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した人を市町村が『地域おこし協力隊員』として委嘱します。隊員は一定期間、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの『地域協力活動』を行いながら、その地域への定住・定着を図ることを目的とした制度です。



鐘ヶ江さんに地域おこし協力隊員として過ごした3年間について聞いてみました。

地域おこし協力隊として

毎年4月から7月までアサリ掘り、5月から10月まで別寒辺牛川カヌーツアー、2017年から厚岸蒸溜所ツアー、2018年からサイクルツーリズム、2018年冬からワカサギ釣り・ネイチャーハイキングツアーをコンキリエの体験観光プログラムとして活動しました。



2018年の秋にはカナールのジュニアアガイドの資格を取得しました。

厚岸町での生活

非常に住みやすい町です。NHKなどのドキュメンタリーで取り上げられるような素晴らしい自然が身近にあり、来た当初から驚きの連続でした。朝起きてカーテンを開けるとシカと目があったり、家の裏でキツネがネズミを狩っていたり、オオワシやオジロワシがすぐ近くの木の枝にとまっていたり、目の前の木にキツツキが飛んできたり、数えきれな

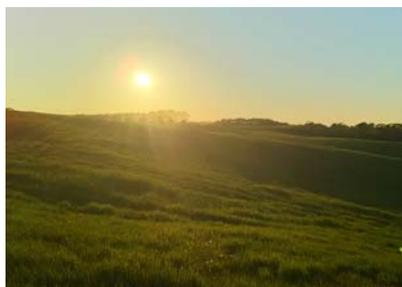


でも貴重だと思えます。

子育ての環境として選んだ移住でしたが、このような環境で育つことのできる子どもたちがうらやましいです。

地域の人や自治会の人たちが優しく接してくれ、自由な時間にお会いする町民の皆さんも温かい人ばかりで、家族ともどもかわいがっていただいています。

毎年冬に、町主催の『地域おこし協力隊活動報告会』が開催されます。報告会では、さまざまな分野で活動している協力隊員の報告が聞けますので、ぜひ多くの町民の皆さんに聞いてもらいたいです。



いほどです。自宅から10分ほどの距離にカヌー乗り場があるなど、アウトドアフィールドがこんなに近いのは、と